



かはま あおい
歩濱 碧さん
(11歳・井口)

- 趣味
ピアノ
- 将来の夢
学校の先生
- 今一番やりたいこと
ジャニーズの嵐に会いたい
- 友達に伝えたいこと
ずっと友達でいてください

菊陽人 りさーち



掲載を希望する人は、はがきか電子メールに「氏名」「年齢」「住所」「連絡先(昼間)」を明記し、〒869-1192 菊陽町役場総合政策課 sogoseisaku@town.kikuyo.lg.jp までお送りください。
注) 掲載対象は、小学生以上で菊陽町に居住している人に限ります。親子、祖父母と孫など2人1組での掲載もできます。掲載が決まりましたら、こちらからご連絡します。



つちだ まゆ
土田 真由さん
(9歳・曲手)

- 将来の夢 サッカー選手
- 得意なこと
水泳で100m泳げること
- 今一番やりたいこと
USJに行きたい
- 友達に伝えたいこと
いつも遊んでくれたり教えてくれたりしてありがとう

むくぐくをはな心かなた 人権のひろば

◇印からの文章は、先生のコメントです。

子どもの目、子どもの声
**人権
作文シリーズ**
【No.66】

問い合わせ
人権教育・啓発課
☎(232)2113

「ぼくの友だち」

武蔵ヶ丘北小学校 3年
平尾 収汰朗
ひらお しょうたろう



▲これからは僕が
友達を助けたい

ぼくは、学校のことを書いてみました。学校できよりよくしたことは図工の「小さなはこの物語」で、しあげをしているときに友だちが「おわたたらぼくの作品といっしょにつなげよう」と言ってくれました。友だちといっしょに作りたいたと思っていたのでとてもうれしかったです。

次に友だちが遊びにさそってくれたことを書きます。友だちが休み時間るときにサッカーにさそってくれたことがうれしかったです。

さいごに友だちに助けてもらったことを書きます。ぼくがじゅぎょうのときにわすれ物をしてこまっていたと、友だちがはさみでのり、けしごむをかしてくれました。おかげで勉強することができました。

ぼくは今のクラスはみんなとてもやさしいので、このクラスはとてもいいクラスだと思っています。今までは友だちに助けてもらっていたので、これからはぼくがこまっている友だちを助けていきたいと思います。

◇収汰朗さんが感じたクラスの良さが素

直に書いていますね。収汰朗さんが何かをしてもらって「ありがと」と言った時は友達もとてもうれしそうでしたよ。しっかりとお礼が言える収汰朗さんも優しいです。

目が不自由な人と耳が不自由な人の話を聞いて

菊陽南小学校 5年(現6年)
矢野 菜乃子
やの ののこ

私は、耳の不自由な方の話を聞いておどろいたのが、手話が平成元年まで学校で禁止されていたことです。手話は耳が不自由な方が会話をしたり、気持ちを伝えたりするために必要なもののなのに、それが使えないなんて、とても大変だったと思います。

目の不自由な人の話を聞いておどろいたことは、目が不自由な方が持っている白い杖をまたいで横切ったり、蹴つていたりする人がいるということです。そういうことをされると、とても怖いと言われているので、絶対やめようと思いました。そして、困っていそうだなと思うたら、声をかけようと思いました。

家に帰ってから、テレビの音を消して観てみました。1分もがまんができませんでした。なので、耳が不自由な人の大変さが少しわかりました。

今はバリアフリーがあつて、暮らしが少しは楽になっていると思います。しかし、このような福祉体験をしてわかった

きくよう文芸

菊陽句会報

夏帽子同じところに指のあと	井 子文	事件事故続く列島秋は立つ	宮川ユキエ
盆の月夫の齢をとうに越え	財津 早雪	杉の春の匂ふ割箸夏料理	曾我 育代
香のほだけ月下美人や雨の夜	原野レイ子	夏雉の寄り添ふ田圃茜雲	曾我トモ子
そよりともせて野萱草日を惜しむ	力 幸子	八十路にもさまざまの道草を引く	日高 妙子
近寄れば急ぎ隠るる蜥蜴かな	寺尾千代子	見落とされゴーヤは自爆の他はなし	紫藤 祥子
青田伸ぶ白鷺隠すほどまでに	高橋 孝子	戦なき空に展る遠花火	村上 朋子
ふるさとのなつかし夏のかほりかな	堀川 妙子	歳経るも背筋伸ばさむ終戦日	野口 令史
梅雨晴れてむかごの蔓の立ち上がり	佐藤 節	月命日に娘と語り冷奴	藤本 純子
子等の住む台風進路寝つかれず	吉野 早苗	梅雨空に負けず練習マーチング	佐藤 健
朝の庭茗荷の花に呼ばれたる	井上久美子	人を待つ静寂やロビーの涼しすぎ	佐藤 澄世

短歌会

照りつける夏の日避ける遮光ネットを明日は剥ごうか息子と共に	梅田 國雄
汝よ蟬よ、一生限りとよみ啼く夏も盛りかこの季に啼け	河北 幸一
ゴーヤの葉に宿る水玉きらめきて風吹く度に落ちて消えたり	佐藤せい子
塀を越え高砂百合は咲き誇る一匹の蜂渡り飛び交う	中村トシエ
緑濃き大樹の下に雨やどり雲間の先に虹のかけ橋	松岡富紀子
一斉に鳴きはじめる蟬の声夏雲の湧く梅雨明けの朝	山川 カヅ
この細き小さき竹の不思議さよ手にしばしして小鳥の声す	松本 東亜

◇いつも朗らかで、みんなに優しい菜乃子さんです。実際に体験してみると、どれだけ大変か分かりましたね。みんなが幸せに暮らせる社会をつくるために、しっかりと考えて行動していきましよう。



▲みんなに伝え、行動していきます

「障害のある人もない人も共に生きる熊本づくり条例」

(平成24年4月1日施行)

障がい者が障がいを理由に差別を受けたら、障がいへの配慮がないため暮らしにくさを感じたりするなど、障がい者にとつて地域での安心した生活が妨げられている状況があります。その背景には障がい者の社会参加を制約している物理的な障壁または障がい者に対する偏見や誤解といった意識上の障壁など、さまざまな障壁があります。今、私たちには障がい者を取り巻くこれらの障壁を取り除く取り組みが求められています。

障がいのある人もない人も安心して暮らすことができる熊本の実現を目指していきましょう。